

新婚夫婦・ミドル夫婦・ベテラン夫婦 900名に聞く「夫婦の財布の紐調査」

**家計管理担当は「妻」約6割、今の家計管理スタイル「結婚前に決定」が約4割
毎月「小遣い制」夫43.8%、妻24.9%で、平均金額は夫3.3万円、妻2.2万円
臨時収入「黙ってられる」(夫21.1万円、妻29.4万円)、
「内緒にされても許せる」(夫20.9万円、妻14.0万円)、夫の方が寛容？
買い物の「夫婦会議」は「1～2万円」(40.1%)から、ベテラン夫婦は「話し合わない」も2割超！
結婚後の最も高価なプレゼント平均額は、夫→妻「12.4万円」/妻→夫「5.3万円」と差！
お金の管理や使い方が上手な有名人夫婦トップは、「佐々木健介・北斗晶夫妻」！**

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社(社長:山本 学)では、全国の既婚者 900名を対象に「夫婦の財布の紐」をテーマとした調査を実施いたしました。

2011年は結婚・家族への関心が高まり、あらためて“夫婦”や“家族”との関係を見つめ直した方も多かったのではないのでしょうか。そこで、当社では11月22日の「いい夫婦の日」を前に、お金の面から見た夫婦の関係を探るべく、新婚夫婦(結婚3年未満)、ミドル夫婦(3年以上25年未満)、ベテラン夫婦(結婚25年以上)の計900名に「夫婦の財布の紐」をテーマに調査を実施。普段は言えない夫婦の胸の内が明らかになっています。

損保ジャパン DIY 生命アンケート「夫婦の財布の紐調査」の結果概要は、以下となります。

◀ 「夫婦の財布の紐調査」の主な結果 ▶

1. 夫婦の家計管理スタイル

- (1) 家計管理、約2割は「夫」担当！家計管理スタイルは、結婚前+結婚1年目で約8割が決定。 …3頁
- (2) 毎月「小遣い制」、夫は結婚後年数にかかわらず4割強、妻は新婚(38.0%)、ミドル(22.0%)、ベテラン(14.7%)と結婚後年数が多くなるほど、小遣い制は減少。 …4頁
- (3) 買い物の夫婦会議は、新婚では約6割が「1～2万円」からと回答。ベテランは「3～5万円」からとの回答が約3割と最も多いが、「話し合わない」も2割強と目立つ。 …5頁
- (4) お金の管理や使い方が上手(見習う点が多い)だと思える有名人夫婦トップは、「佐々木健介・北斗晶夫妻」 …5頁
- (5) 結婚後、約9割がパートナーにプレゼントをあげた経験あり。
最も高価なものは、夫→妻「家・別荘」(680万円)。妻→夫「自動車」(250万円)。 …6頁

2. 夫婦間のお金のトラブルと金銭感覚の違い

- (1) 夫婦間のお金のトラブル「あった」と回答した妻の約3割は“離婚を考えた”。ベテランは「時間が解決」という意見も。 …7頁
- (2) 臨時収入があった場合「黙ってられる金額」(新婚10.6万円、ベテラン46.7万円)、「内緒にされても許せる金額」(新婚6.1万円、ベテラン29.1万円)は、ベテラン夫婦の貫禄？ …8頁

3. 実は厳しくチェック、査定されている！？夫婦の胸の内

- (1) 夫は妻の「食費」「電気」の節約、妻は夫の「衣料品・服飾品」「娯楽費」の節約を実はムダだと感じている。
一番無駄遣いだと思うこと、夫→妻「食費・外食費」、妻→夫「タバコ代」「趣味・娯楽費」「酒代」 …9頁
- (2) もし社長だったら、パートナーに支払う年俸平均は夫→妻「422万円」、妻→夫「552万円」。 …10頁

《対象者の属性》

- (1) 調査対象 既婚の男女各 450 名 計 900 名
 <サンプル配分>

	サ ン プ ル 数	男 性	女 性
全 体	900 100.0	450 50.0	450 50.0
【結婚後年数】 3 年未満	300 100.0	150 50.0	150 50.0
3 ~25年未満	300 100.0	150 50.0	150 50.0
25年以上	300 100.0	150 50.0	150 50.0
< 3 年未満 > 男性	150 100.0	150 100.0	- -
女性	150 100.0	- -	150 100.0
< 3 年~25年 > 男性	150 100.0	150 100.0	- -
女性	150 100.0	- -	150 100.0
<25年以上 > 男性	150 100.0	150 100.0	- -
女性	150 100.0	- -	150 100.0

- (2) 調査地域 全国

- (3) 調査期間 2011 年 10 月 14 日(金)~10 月 19 日(水)

- (4) 調査方法 インターネット調査

- (5) 回答者属性

	サ ン プ ル 数	男 性	女 性
全 体	900 100.0	450 50.0	450 50.0
【年代】 20代	312 100.0	155 49.7	157 50.3
30代	124 100.0	58 46.8	66 53.2
40代	120 100.0	58 48.3	62 51.7
50代	163 100.0	82 50.3	81 49.7
60代	181 100.0	97 53.6	84 46.4

本リリース中では、結婚後年数 3 年未満を「新婚」、
 3 年以上 25 年未満を「ミドル」、
 25 年以上を「ベテラン」と記載しています。

1. 夫婦の家計管理スタイル

(1) 家計管理スタイル

65.3%が家計管理は「妻」が担当、「夫」が担当は 20.1%。4 割強は結婚前に家計管理スタイルが決定。

『家計の管理をしているのは、どちらか』を聞いたところ、「妻」が 65.3%となり、特にベテランで「妻」が担当する割合が高いようです。家計管理のスタイルは、「結婚前に決まっている」人が約 4 割(43.3%)で、約 8 割弱(76.0%)の世帯が「結婚 1 年以内」に決定と回答しています。家計管理のスタイルは早い段階で決定しているようです。

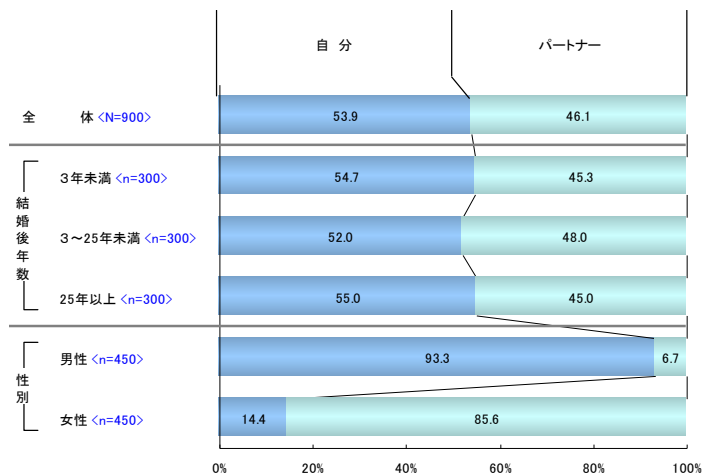
ベテランも、「結婚 1 年以内」の決定が 6 割を超えますが、「11 年以上」(25.0%)も多く、家計管理もライフステージの変化に応じて“見直し”されているようです。

また、夫と妻どちらの年収が多いかを聞いたところ、「夫」と回答した人は 89.4%(805 人)となりました。

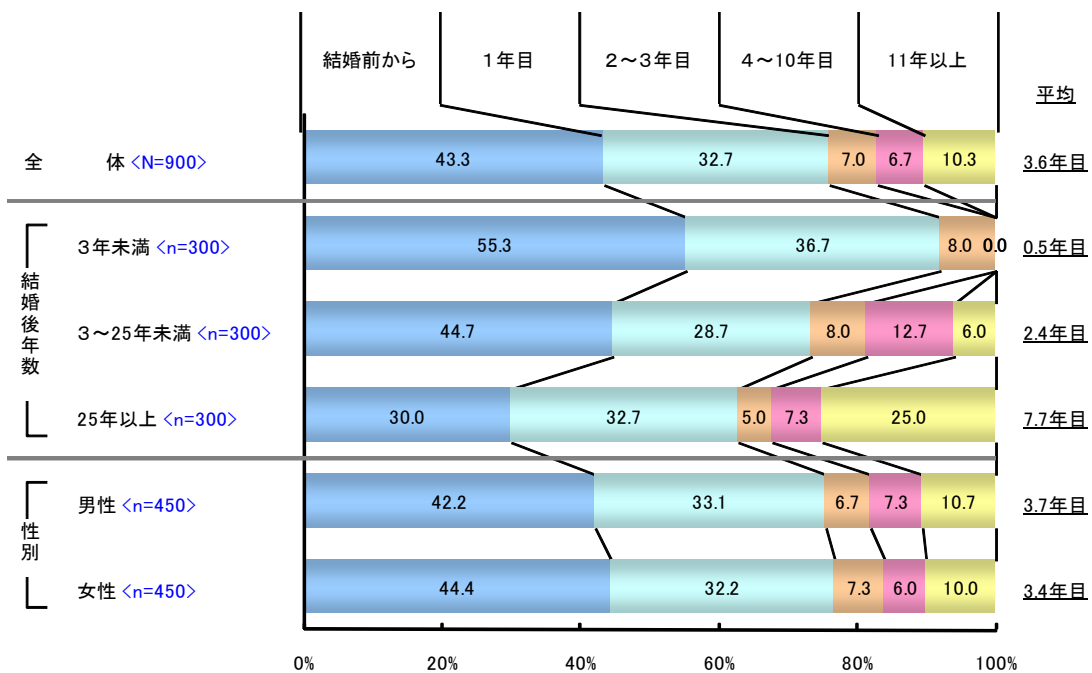
家計の管理をしている人

	妻	夫	夫婦それぞれ別の財布を管理している	その他
全体	65.3%	20.1%	13.9%	0.7%
3年未満(新婚)	60.0%	22.0%	17.0%	1.0%
3年～25年未満(ミドル)	61.6%	22.8%	14.7%	0.9%
25年以上(ベテラン)	74.0%	15.7%	10.0%	0.3%

どちらの年収が多いか



今の家計管理になったのは結婚何年目ぐらいからか？

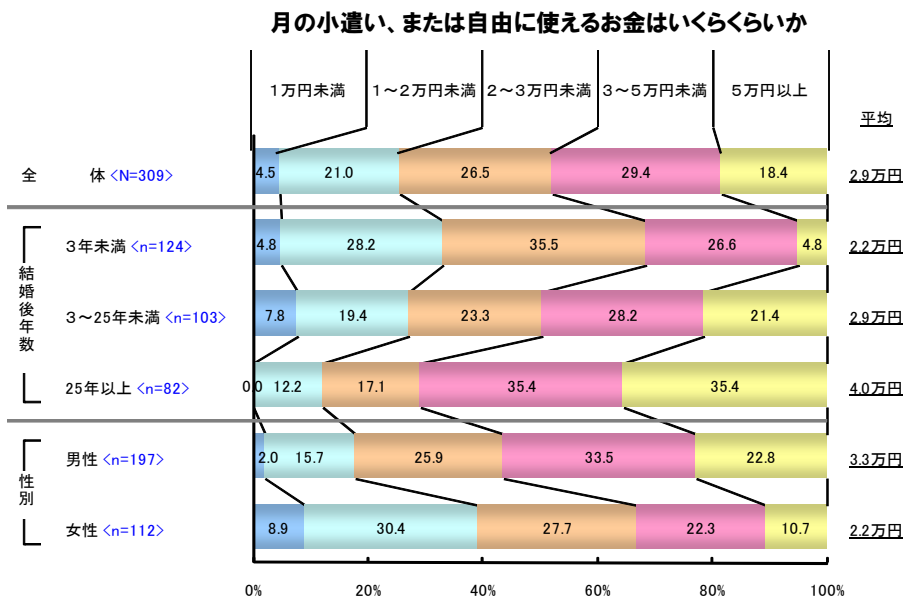
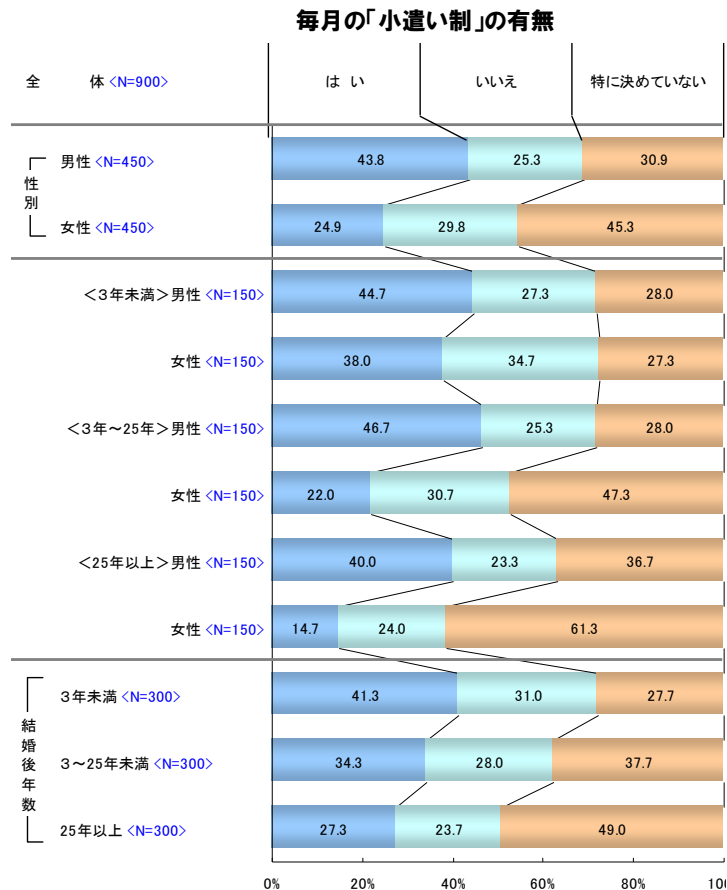


1. 夫婦の家計管理スタイル

(2) 毎月の小遣い制

毎月「小遣い制」は、夫 43.8% (3.3 万円)。妻 24.9% (2.2 万円)。
夫は結婚後年数に関わらず、4 割強が毎月小遣い制。

毎月の「小遣い制」について聞いたところ、夫(43.8%)、妻(24.9%)が「小遣い制」と回答しました。結婚後年数別にみると、夫は結婚後年数に関わらず 4 割強が毎月「小遣い制」と回答。妻は新婚でこそ 38.0% が小遣い制ですが、ミドル(22.0%)、ベテラン(14.7%)と減少しています。妻の小遣い制の減少と引き換えに増えているのが、「特に決めていない」派で、新婚(27.3%)、ミドル(47.3%)、ベテラン(61.3%)と結婚後年数に比例する形で大幅に増加しています。妻は、結婚生活が長くなるにつれ、自由に使えるお金を家計の中から上手に捻出しているのかもしれない。



1. 夫婦の家計管理スタイル

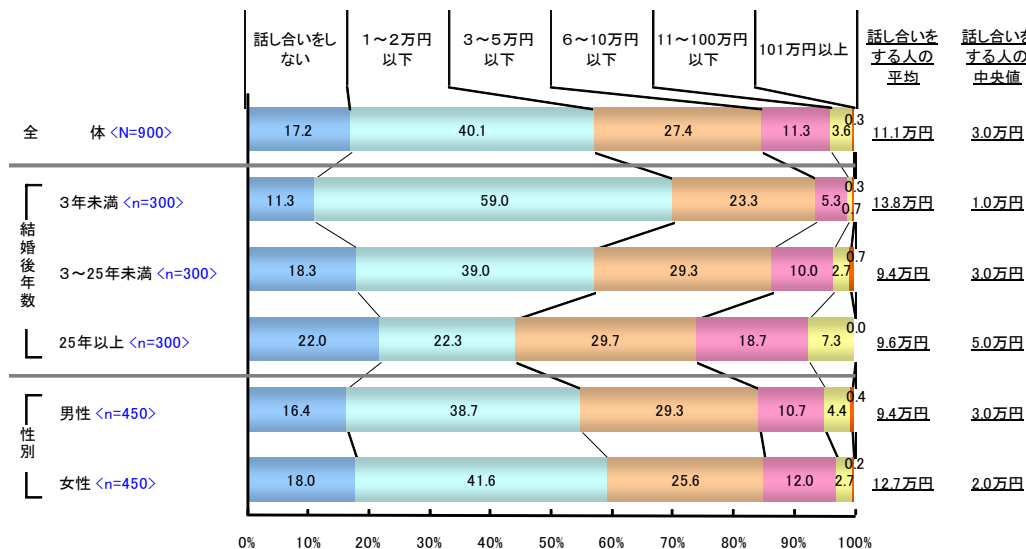
(3) お金における夫婦の話し合い

買い物は「1~2万円」(40.1%)から“夫婦会議”をする世帯が多い。
 新婚の約6割は「1~2万円」から夫婦会議。ベテランは「話し合いをしない」も2割強と目立つ。

『いくら以上の買い物をする際に、夫婦で話し合いをするのか』を聞いたところ、約4割が「1~2万円」(40.1%)から、約3割が「3~5万円」(27.4%)からとなっており、“1万円以上の買い物は夫婦で話し合う”という世帯が多いようです。

結婚後年数別では、新婚では約6割が「1~2万円」からですが、ミドル、ベテランになるにしたがい、夫婦で「話し合いをする」金額は高額になり、「話し合いをしない」も増加する傾向が見られます。なお、話し合う金額の最高額は「3,000万円」(1名)で、「500万円」、「750万円」も1名ずつみられました。

夫婦で話し合いをするのは、いくら以上の買い物をする時か？



※中央値・・・データを小さい順に並び替えた時、中央に位置する値。データが偶数個の場合、中央に近い2つの値の平均。平均に比べ、極端なデータ値があった場合でも、比較の実態に近い値となる。

(4) お金の管理や使い方が上手(見習う点が多い)だと思う有名人夫婦

トップは「佐々木健介・北斗晶 夫妻」(40件)、僅差で2位は「船越英一郎・松居一代 夫妻」(36件)。いずれもしっかり者の奥さんへの支持が厚い。

『お金の管理や使い方が上手(見習う点が多い)だと思う有名人夫婦』をあげてもらったところ、以下のような順位となりました。

「佐々木健介・北斗晶 夫妻」は特に新婚からの支持が高く、「船越英一郎・松居一代 夫妻」は各世代からまんべんなく支持が集まりました。

お金の管理や使い方が上手(見習う点が多い)だと思う有名人夫婦

順位		件数	結婚後年数		
			3年未満	3~25年未満	25年以上
1	佐々木健介・北斗晶 夫妻	40	25	11	4
2	船越英一郎・松居一代 夫妻	36	11	15	10
3	薬丸裕英・石川秀美 夫妻	5	2	1	2
4	杉浦太陽・辻希美 夫妻	4	2	1	1
	渡辺徹・榊原郁恵 夫妻	4	1	0	3

1. 夫婦の家計管理スタイル

(5) 結婚後のパートナーへのプレゼント

結婚後、パートナーにプレゼントをあげたことが「ある」は約 9 割。
 最も高価なプレゼント平均額は、夫から妻「12.4 万円」、妻から夫「5.3 万円」で、「誕生日」(72.5%)にあげた人が多い。

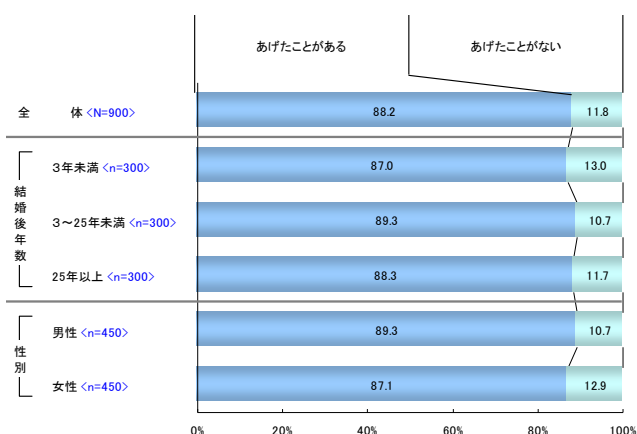
『結婚後パートナーへプレゼントをあげたことがあるか』を聞いたところ、夫が 89.3%、妻が 87.1%とお互いに送りあっている夫婦が多いようで、プレゼント平均金額は、夫から妻「12.4 万円」、妻から夫「5.3 万円」と、妻へのプレゼント金額が高額となっています。

『プレゼントした品物』を聞いたところ、夫から妻は「宝飾品」(37.3%)、「靴やバッグなど」(14.7%)、妻から夫は「衣料品」(30.1%)、「靴・バッグなど」(16.8%)となりました。

夫だけに見られた品物では「花」(8.5%)、妻だけに見られた品物は「手作りの品」(1.8%)と、夫はロマンチスト、妻は手作りで堅実派の一面がうかがえました。

また、回答中で最も高価な品物は、夫から妻「家・別荘」(680 万円)、妻から夫は「自動車」(250 万円)でした。ちなみに、プレゼントをあげた日は、ベテランでは「結婚記念日」(53 件)が他より多く見られ、「旅行や出張のお土産」(11 件)「退職祝い」(4 件)「父の日」(4 件)も特徴的です。新婚では「クリスマス」(22 件)が他の年代よりも多くなっています。

パートナーにプレゼントをあげたことが「ある」か？



最も高価なプレゼントをあげた日

順位		%	結婚後年数(件数)		
			3年未満	3~25年未満	25年以上
1	誕生日	72.5%	199	207	170
2	結婚記念日	13.2%	22	30	53
3	クリスマス	5.4%	22	14	7
4	旅行や出張のお土産	2.1%	0	6	11
5	ボーナス支給日	1.0%	2	3	3
6	婚約時、結婚時	0.6%	3	2	0
	退職祝い	0.6%	1	0	4
8	父の日	0.5%	0	0	4
	バレンタイン	0.5%	1	3	0
参考	その他	2.4%	8	6	5
	特に決まっていない	3.9%	8	9	14

最も高価なプレゼント 男女別ランキング

【男性】プレゼント平均12.4万円

順位		%	平均(万円)
1	宝飾品	37.3%	14.1
2	靴・バッグなど	14.7%	4.6
3	衣料品	10.0%	3.1
4	花	8.5%	0.9
5	豪華な食事	7.2%	1.6
6	時計	7.0%	19.1
7	旅行(国内・海外)	5.0%	24.7
8	スポーツ用品、趣味の用品など	1.7%	3.9
9	自動車	0.7%	160.0
10	家・別荘	0.2%	680.0

【女性】プレゼント平均5.3万円

順位		%	平均(万円)
1	衣料品	30.1%	1.9
2	靴・バッグなど	16.8%	2.5
3	時計	16.6%	12.1
4	スポーツ用品、趣味の用品など	7.9%	5.1
5	宝飾品	4.8%	1.6
6	豪華な食事	4.6%	4.2
7	旅行(国内・海外)	3.3%	6.7
8	手作りの品	1.8%	0.9
9	自動車	0.3%	250.0

2. 夫婦間のお金のトラブルと金銭感覚の違い

(1) 夫婦間のお金のトラブル

夫婦間でお金のトラブル「あった」(56.2%)は半数超。「あった」と回答した約3割の妻は「離婚」を考えた。原因トップは、「生活費のやりくり・使い道について」。夫「大きな買い物」、妻「パートナーの浪費」に不満。

『夫婦間のお金のトラブル』を聞いたところ、「ある」(56.2%)という回答が半数を超えています。

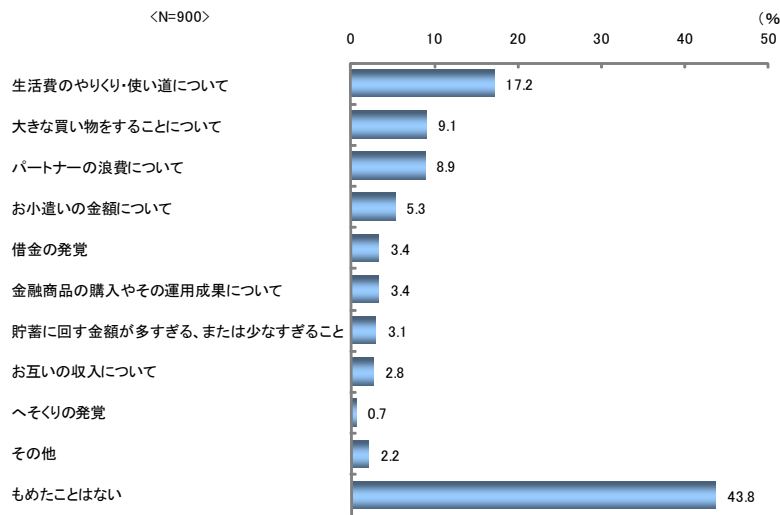
原因トップは、「生活費のやりくり・使い道について」(17.2%)で、日常生活でのお金がきっかけとなっているようです。

結婚後年数別では、ベテランは「貯蓄に回す金額」(0.7%)や「お互いの収入」(1.0%)などは、新婚とミドルに比べてほとんどもめることはないようです。

また、『お金のトラブルが原因で離婚まで考えたか』を聞いたところ、「考えた」(20.6%)と約2割が深刻な事態に発展しています。夫婦別では、夫(11.9%)より妻(29.2%)の方が「考えた」場合が多く、夫の方がお金に関することに楽観的なのかもしれません。

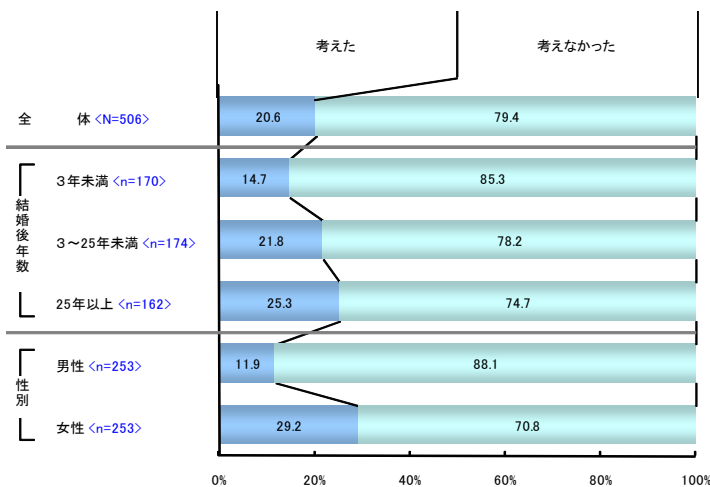
回避方法・解決方法は、「話し合った」(24件)がトップでしたが、ベテランは「あきらめた、妥協した」「時間が解決した、自然に問題にならなくなった」も目立ち、年月を重ねたベテラン夫婦ならではの回答も見られました。

お金に関して夫婦間で一番もめたこと



	結婚後年数			性別	
	3年未満 n=300	3~25年 未満 n=300	25年以上 n=300	男性 n=450	女性 n=450
生活費のやりくり・使い道について	18.3	16.0	17.3	20.0	14.4
大きな買い物をすることについて	6.7	11.0	9.7	10.2	8.0
パートナーの浪費について	6.7	11.0	9.0	5.8	12.0
お小遣いの金額について	7.3	5.3	3.3	5.6	5.1
借金の発覚	3.7	3.3	3.3	1.8	5.1
金融商品の購入やその運用成果について	2.3	2.7	5.3	4.0	2.9
貯蓄に回す金額が多すぎる、または少なすぎる	4.7	4.0	0.7	2.9	3.3
お互いの収入について	4.3	3.0	1.0	2.9	2.7
へそくりの発覚	0.3	1.0	0.7	0.9	0.4
その他	2.3	0.7	3.7	2.2	2.2
もめたことはない	43.3	42.0	46.0	43.8	43.8

そのことが原因で離婚まで考えたか



回避方法、解決方法

順位	内容	件数	結婚後年数		
			3年未満	3~25年未満	25年以上
1	話し合った	24	9	9	6
2	あきらめた、妥協した	15	4	4	7
3	時間が解決した、自然に問題にならなくなった	12	2	3	7
4	家計の管理方法ややりくりを見直した	11	3	6	2
5	子どものことを考えた	7	1	2	4
6	第三者に間に入ってもらった	5	0	2	3
	離婚を考えていることを言った	5	1	3	1
8	いまだに解決していない	4	0	3	1

2. 夫婦間のお金のトラブルと金銭感覚の違い

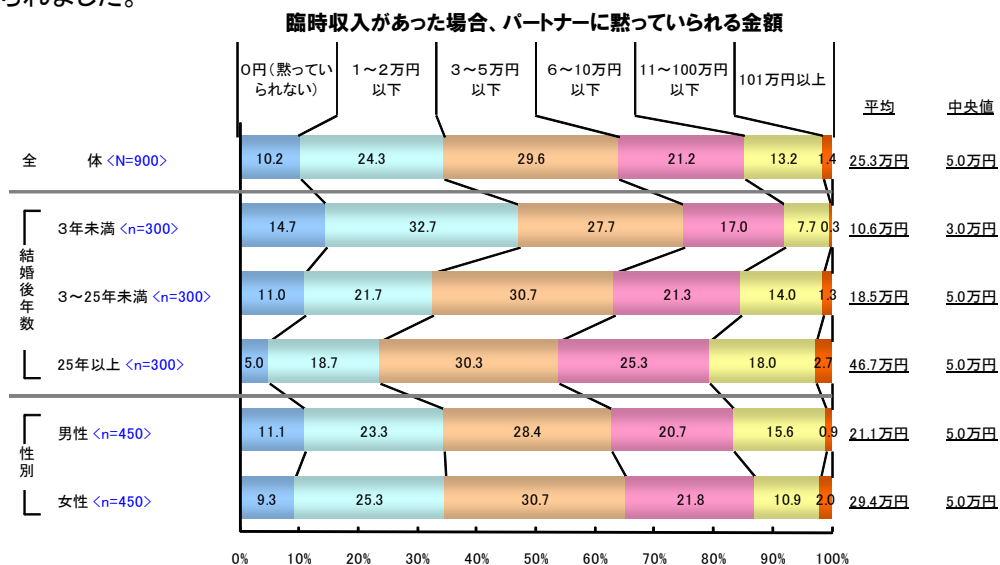
(2) 臨時収入があった場合“黙ってられる”“内緒にされても許せる”金額

臨時収入があった場合に、パートナーに“黙ってられる”平均額は「25.3万円」。逆に、パートナーに“内緒にされても許せる”金額は「17.5万円」。

いずれも、結婚後年数が経過するに従い、“黙ってられる”平均額は増加し、“黙ってられない、許せない”平均額は減少する傾向。

『もし臨時収入があった場合、パートナーに“黙ってられる”金額』を聞いたところ、平均額は「25.3万円」となりました。

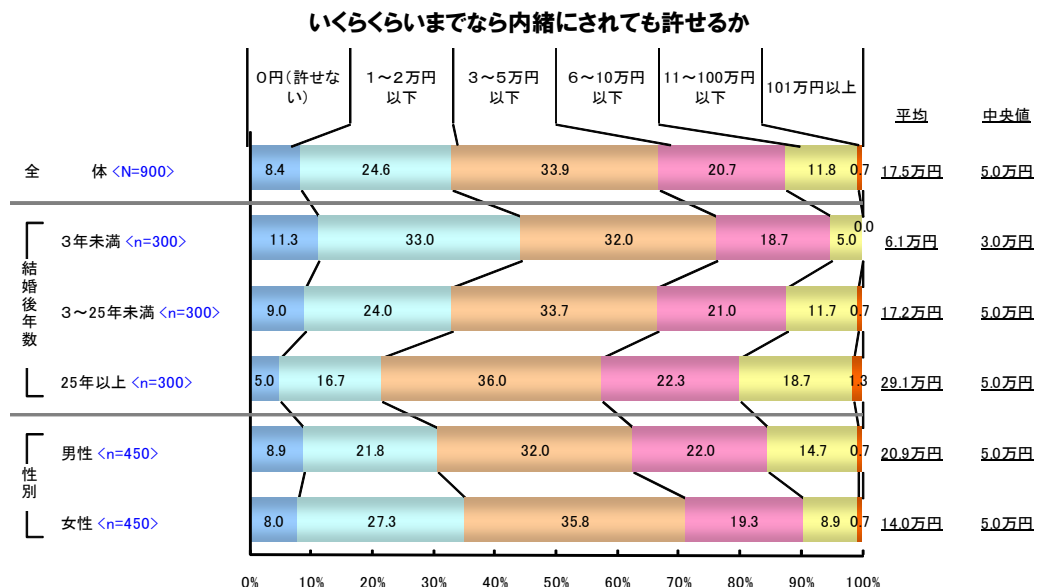
夫婦別では、妻が「29.4万円」と夫の「21.1万円」よりも8.3万円多い金額を黙ってられるという回答でした。なお、1,000万円以上という回答も8名みられ、最高額は3,000万円(1名)と高額でも“黙ってられる”という回答も見られました。



※中央値・・・データを小さい順に並び替えた時、中央に位置する値。データが偶数個の場合、中央に近い2つの値の平均。平均に比べ、極端なデータ値があった場合でも、比較的実態に近い値となる。

一方、『内緒にされても許せる金額』を聞いたところ、平均金額は「17.5万円」となりました。

夫婦別では、妻の「14.0万円」に対して夫の「20.9万円」と、約7万円少ない金額を内緒にされたら許せないと回答するなど、妻は夫のお金に対して厳しいようです。なお許せる最高額は1,000万円(5名)でした。全般的に、“黙ってられる”よりも“許せない”金額の方が少ないという傾向のようです。



3. 実は厳しくチェック、査定されている！？夫婦の胸の内

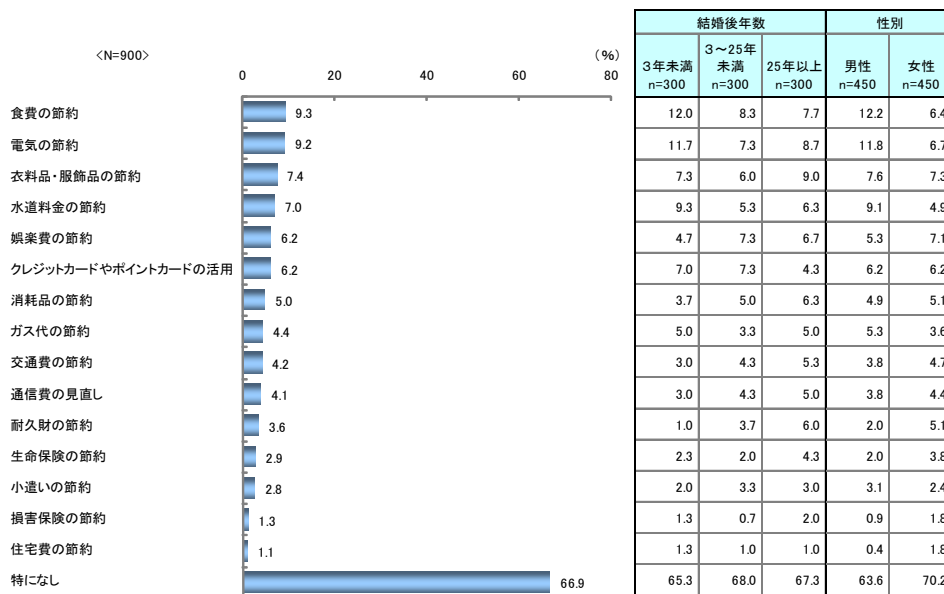
(1) パートナーには言えないが、“実は無駄だと思う節約術”と“無駄遣い”

“実は無駄だと思う節約術”、夫は「食費」「電気」の節約を、妻は「衣料品・服飾品」「娯楽費」の節約を“ムダだなあ”と感じている。

また、一番無駄遣いだと思うことは、夫→妻「食費・外食費」、妻→夫「タバコ代」「趣味・娯楽費」「酒代」など、多くの項目で、妻の方が夫のお金の使い方を厳しく見ているようである。

『パートナーには言えないが、実は無駄だと思う節約術』を聞いたところ、「特になし」(66.9%)がトップではあるものの、夫は妻の「食費」「電気」の節約を、妻は夫の「衣料品・服飾品」「娯楽費」の節約を“ムダだなあ”と感じているという回答でした。

パートナーがしているが、実は無駄だと思う節約術



さらに、パートナーに対して一番無駄遣いだと思うことをきいたところ、以下のような順位になりました。

パートナーに対して一番無駄遣いだと思うことトップ 10

順位		件数	結婚後年数			性別	
			3年未満	3~25年未満	25年以上	男性	女性
1	食費・外食費	74	24	23	27	53	21
2	タバコ代	72	21	27	24	4	68
3	趣味・娯楽費	54	16	23	15	9	45
4	酒代	44	17	16	11	4	40
5	ギャンブル	42	14	14	14	4	38
6	衣料品・服飾費	41	14	13	14	29	12
7	水道光熱費	39	14	13	12	23	16
8	お菓子・ジュース代	35	22	10	3	14	21
9	書籍代	21	8	5	8	4	17
10	通信費	17	9	6	2	8	9

3. 実は厳しくチェック、査定されている！？夫婦の胸の内

(2) 社長だったら、パートナーに年俵をいくら支払うか

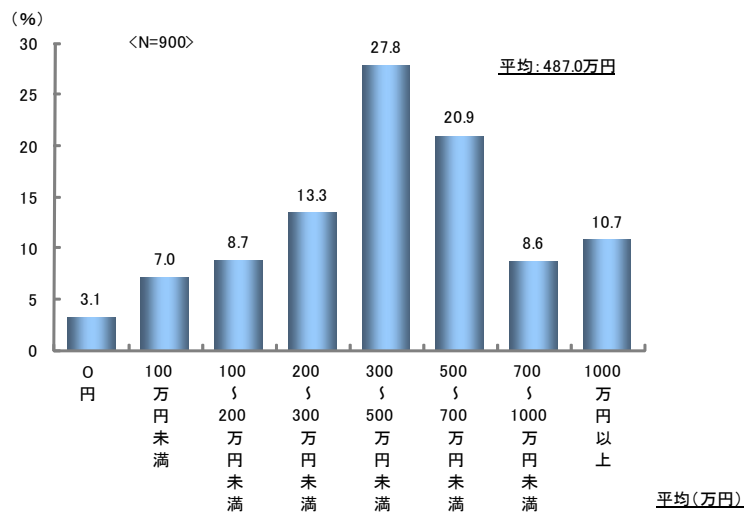
平均年俵は、「487.0万円」。夫婦の平均年俵差は130万円です夫の方が高い。

『自分が社長だとして、パートナーに支払える年俵』を査定してもらったところ、平均年俵は「487.0万円」となりました。夫から妻へは「422万円」、妻から夫へは「552万円」と130万円もの差が見られました。

その年俵理由を聞いたところ、理由トップは「仕事や家事をがんばってくれているから」(239件)で、日頃感謝の言葉を口にせずとも、心ではパートナーに感謝している思いが明らかになりました。

他の理由としては、「お金をあげてもタバコを買ってしまうから」(妻)、「子育ても含めてもうひと頑張りをお願いしたい」(妻)など中には辛口な意見も見られました。

社長だったら、パートナーに支払う年俵額



結婚後年数	平均(万円)								
	3年未満	3~25年未満	25年以上	男性	女性	男性	女性	男性	女性
3年未満 <n=300>	2.7	6.0	8.7	12.0	30.7	21.3	7.3	11.3	495
3~25年未満 <n=300>	4.0	6.0	6.7	12.7	27.3	23.3	10.0	10.0	499
25年以上 <n=300>	2.7	9.0	10.7	15.3	25.3	18.0	8.3	10.7	467
性別	男性 <n=450>		女性 <n=450>		男性		女性		
	3.3	6.7	13.1	18.2	30.4	15.3	4.2	8.7	422
	2.9	7.3	4.2	8.4	25.1	26.4	12.9	12.7	552

年俵理由トップ10

順位	理由	件数	結婚後年数			性別	
			3年未満	3~25年未満	25年以上	男性	女性
1	仕事や家事をがんばってくれているから	239	86	73	80	120	119
2	現在の年収と同じくらいだから	84	32	31	21	31	53
	このくらいが妥当だと思うから	84	28	31	25	48	36
4	一般的な年収くらいだと思うから	65	25	19	21	31	34
5	このくらいならば余裕をもって生活できるから	30	11	6	13	10	20
	仕事や家事が苦手だから	30	7	13	10	10	20
7	あまり多すぎない方が良く思うから	25	8	9	8	5	20
8	このくらいの仕事をする能力があると思うから	22	6	8	8	8	14
9	家計として、そのくらいの額が欲しいから	20	4	7	9	5	15
10	現在の年収より高いと思うから	19	13	5	1	4	15

..... **DIY生命の「4つの約束」**

わたしたち損保ジャパンDIY生命は1999年の創業以来、「1年組み立て保険」という独自の商品販売を通じて、“自分の保険は、自分でつくる”、“生命保険は、ライフステージの変化に合わせて見直す”、“生命保険で、貯蓄はしない”というメッセージを発信し続けています。これらは、お客さまに「真にムダのない、合理的な保険をご提供する」というメッセージであり、次に掲げる当社の「4つの約束」に基づいています。

◆お客さまにぴったりあった商品の提供

◆お客さま自らの判断でご加入いただくこと

◆迅速なサービスの提供

◆お客さまとの継続的な関係の構築

わたしたちは、損害保険ジャパングループの「ダイレクト販売専門生命保険会社」として、また「常に先進的な取り組みを目指す会社」として、これからも「4つの約束」のもと、質の高いサービスと安心を提供してまいります。

————— **【本件に関するお問い合わせ先】** —————

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社

広 報 室 : 杉山、高月 TEL:03-5437-9026